

平成25年(2013)5月30日(木)・31日(金)

平成25年度(2013)

第2回出雲市議会(定例会)

施政方針質問通告一覧表

平成25年度(2013)第2回出雲市議会(定例会)施政方針質問通告一覧表 目次

5月30日(木) 10:00開会				5月31日(金) 10:00開会			
順番	会派名	議員氏名	ページ	順番	会派名	議員氏名	ページ
1	真誠クラブ	飯塚俊之	2~3	1	公明党	勝部順子	6
2	政雲クラブ	板倉明弘	3~4	2	日本共産党	大國陽介	7~9
3	市民の会	米山広志	4	3	大社クラブ	長廻利行	9
4	平成クラブ	宮本享	5				

平成25年度（2013）第2回出雲市議会（定例会）施政方針質問通告

質問者	13 真誠クラブ 飯塚 俊之		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 所信について	①2期目の市政運営を始めるにあたり ア 長岡市政の特色は何か イ 4年間に積み残した課題とその克服への具体策	市長	
2. 市政の基本方針について	①開かれた市政の更なる推進について ア 自治基本条例の必要性と今後のスケジュール ②財政の健全化について 全国的にも非常に悪い財政指標、扶助費の増加、地方交付税の縮減など、厳しい財政状況において財政の健全化のみならず、行財政の改革が必要であります。 ア 総人件費抑制に向けたプロセスとスケジュール イ 公共事業費総枠の適正化 ウ 受益者負担適正化の対象になるサービス エ 常設型の行財政改革審議会の権限と役割	市長	
3. 雇用創出2,000人プロジェクト	①商工業について ア 企業誘致の見通し ②農林水産業について ア 土地改良事業の現状と今後の整備方針 イ 市民参加型の間伐材搬出の仕組み ウ シジミの生産量増加に向けた支援策	市長	
4. 定住人口キープ17万人プロジェクト	①コミュニティセンターの整備状況と今後の整備方針	市長	
5. 交流人口1,000万人プロジェクト	①出雲大社「平成の大遷宮」は本殿遷座祭をはじめ、その後の奉祝事業にも多くの参拝者、観光客が訪れています。 ア 遷宮後の観光戦略 イ (仮称) 出雲子ども観光大使の役割 ウ 山陰新幹線や中国横断新幹線導入に向けた具体的な推進方針	市長	
6. 住みやすさNo.1プロジェクト	①安全・安心について ア 通学路の安全対策	市長	

	イ 子ども・子育て会議の役割 ウ 乳幼児医療無料化の方針 エ 学校再編計画の進め方 オ 老朽化した校舎の改築方針 ②環境について ア メガソーラー事業の民間事業者への支援		
7. 今後の取り組み	①プロスポーツを目指すチームへの支援策	市	長
8. 結び	①信頼される市役所になるため、職員の皆さんに求めるものについて伺います。	市	長

質問者	25 政雲クラブ 板倉 明弘
-----	----------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 市政の基本方針の中から開かれた市政の更なる推進と財政の健全化について	①開かれた市政の更なる推進 ア 自治基本条例については、どのような手順・方法を執って理解を深めて頂くのか。 ②財政の健全化 ア 公共事業費総枠の適正化に関し、建設業協会からの陳情に対する所見。 イ 行政の事務領域・サービスの担い手の検討に関し、具体的な内容。 ウ 収納率向上と未収金の縮減のための取り組み内容と数値目標。 エ 行財政改革大綱の見直しを行なうに至った大綱の問題点と見直す内容。 オ 新たな実施計画のタイムスケジュール。	市	長
2. 主要施策・主要事業について	①雇用創出2,000人プロジェクト ア 「斐川中央工業団地」、中心市街地への企業誘致の具体的な手法。 イ 市民参加による間伐材搬出の仕組みを導入し、森林管理体制の充実につなげる事業内容と期待する効果。 ウ 地域の核となる経営体の確保や新規就農への方策。 ②定住人口キープ17万人プロジェクト ア 自治会加入率の低い地域への重点的な支援内容。 イ 未婚・晩婚化への対策として行なう縁結びプロジェクトの取り組み内容。 ③交流人口1,000万人プロジェクト ア 中海・宍道湖・大山圏域市長会に関し、観光、産業、環境分野への具体的な考え。 ④住みやすさNo.1プロジェクト ア 様々な情報伝達手段を一括して処理できるシステムの内容と迅速かつ正確な伝達方法の仕組み。	市	長

	<p>イ 出雲市中央部に緊急情報伝達の手段として早急に外部拡声器の設置を求める陳情に対する所見。</p> <p>ウ 空き家対策について、適切な管理を促すための条例の内容と制定時期。</p> <p>エ 島根県は、公文書で自殺という言葉を「自死」と言い換えることを決めた。この施政方針書では「自殺」となっている。本市での今後の対応は。</p> <p>オ 大規模災害に備え、災害時要支援者ネットワーク事業の具体的な内容。</p> <p>カ 小中学校及び幼稚園の再編についての今後の取り組みと具体的な協議内容。</p>		
3. 一期目から継続した課題について	<p>①都市計画税の取り扱い</p> <p>ア 協議組織、内容およびタイムスケジュール。</p> <p>②雇用促進住宅の取り扱い</p> <p>ア 今後のタイムスケジュール</p>	市長	

質問者	27	市民の会 米山 広志
-----	----	------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 開かれた市政の更なる推進	<p>①市長ポスト、面会日、まちづくり懇談会など広聴機能の充実</p> <p>ア 4年間の課題と成果</p> <p>②自治基本条例</p> <p>ア 今後の具体的な日程、予定</p>	市長	
2. 常設型の行財政改革審議会	<p>①実施計画の策定の時期</p> <p>②実行の予定</p>	市長	
3. 少子高齢化と過疎対策	<p>①過疎地域支援センターの設置はいつか。なぜ佐田支所か</p> <p>②支援専門員は何人配置か</p>	市長	
4. (仮称) 出雲子ども観光大使	<p>①観光大使は全小中学校か</p> <p>②PR活動は行政職か、教職員対応か</p>	市長	
5. 教育行政	<p>①幼稚園版の運営協議会制度の立ち上げの年度、全幼稚園が対象か</p> <p>②学校給食の安全・安心対策と食品・食材の地元産の積極的な使用策</p>	市長	
6. 可燃ごみ処理施設の整備	<p>①建設用地の選定は年度内か</p>	市長	

質問者	29 平成クラブ 宮本 享		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 2期目の市政運営について	①1期、4年間において積み残した課題とは具体的にどのようなものか ②2期目において、これらの課題に対しどのように対応していくのか ③市政運営を効率良く行うためには、市職員をうまく活用し、市職員の能力を十分に引き出していくことが必要である。これから自治体経営も厳しい状況を迎える中、市職員に求められる役割は何であるか。また、期待することは何か。	市長	
2. 縁結びプロジェクトについて	①出雲市における未婚化、晩婚化の状況はどのようになっているか ②結婚支援に新たに取り組むとあるが、どのような団体と連携をとって具体的にどのような支援を行うのか ③「縁結びの地出雲」というブランドをうまく活用し、メディアと連携して本事業を広くPRし、TV番組に取り上げてもらうような取組みを行ってはどうか	市長	
3. 観光誘客の推進について	①昨年度認定した「地域が誇る観光スポット」に対する地域の活動を支援するとあるが、その詳細はどのようなものか ②東京ディズニーリゾートのキャラクターによるパレードの誘致は、市内外から多くの見学者が見込まれる。多くの子どもたちに楽しんでもらえるような仕掛けづくりはあるのか。また、賑わい創出のため、今後もこのような子ども或いは若者が楽しんでいただけるイベントを積極的に誘致してはどうか。 ③外国人観光客対策として、誘客につながる助成制度を設けるとあるが、どのような制度なのか	市長	
4. スポーツ振興について	①出雲市民の一体感を高めるため、市内の施設を拠点とするプロスポーツをめざすチームへの支援を検討するとあるが、どこの施設を拠点とした何のチームなのか ②どのような支援を行うことを想定しているか	市長	

質問者	26 公明党 勝部 順子		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 所信	①1期4年間において積み残した課題とは何か。新たに取り組むべき目標は何か。	市長	
2. 財政の健全化	①公共施設の統合再編については、昨年から検討がされている。検討状況と今後の見通しについて伺う。 ②受益者負担の適正化及び行政の事業領域・サービスの担い手の検討について ア 受益者負担の適正化で想定される事案について。 イ 結論はいつ頃を想定されているのか。 ③平成24年度包括外部監査結果報告書で、市が出資する外郭団体等（財政援助団体を含む）の余裕資金の還元について監査人から指摘を受けている。この点についての市長の考えを伺う。	市長	
3. 定住人口キープ17万人プロジェクト	①地域コミュニティ活動の推進 ア 高齢化社会の影響は、コミュニティ活動に大きく影響を与えている。中心市街地でも、自治会からの脱退を望む声が聞かれる。このような実態に対し、市は今後どう対応されるのか。市内の状況と今後の取り組みについて伺う。 イ 自治会の加入促進について、加入率の低い地域を重点的に支援するとされているが、これまでの成果と、今後の方針について伺う。 ②少子高齢化と過疎化が著しく進む地域への対策 ア 過疎地域支援専門員の役割 イ 機能維持が困難な地域の実態についての所見	市長	
4. 交流人口1,000万人プロジェクト	①高齢化社会の進む中で、市民の皆様から「移動手段の確保を早く」と一番望まれている。平成23年度から、公共交通ネットワークの構築については、外部委員を含めた検討会を設けて協議が進められているが、いつになれば、皆さんに朗報が届けられるのか。この問題に対し市長はどのように感じておられるのでしょうか。現在までの状況と、今後の見通しについて伺う。		
5. 住みやすさNo.1プロジェクト	①市民後見人の養成について ア 市内の後見人制度の現状について イ 取り組みの詳細と、問題点について伺う。 ②幼稚園版の運営協議会制度の立ち上げについて ア 目的と、効果について	市長	

質問者	16 日本共産党 大国 陽介		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 施政方針策定にあたっての市長の政治姿勢について	①「市政運営の基本的な考え方」に関連して、市長の基本的な認識を伺う。 ア 地方自治体の役割は「住民福祉の増進」であり、市民の生命・財産、くらしを守ること に他ならない。失政のツケを市民に負わせたり、福祉切り捨ての一方で不要不急の事業を 進めたりすることなどあってはならない。今こそ、市民のくらし最優先の市政へと転換す べきと考えるが、いかがか。市長の認識を伺う。	市 長	
2. 「市民が主役のまちづくり」について	①「市民が主役のまちづくり」と「自治基本条例」について ア 「市民が主役のまちづくり」には、徹底した情報公開と市民の声を行政運営に反映さ せる仕組みづくりが不可欠であり、「自治基本条例」もその柱となるものと認識している。 とりわけ、条例の策定過程には、市民参加と市民合意が欠かせないと考えるが、市長の 所見を伺う。	市 長	
3. 「財政の健全化」について	①「財政の健全化」について ア 「極めて厳しい」ほどの財政状況の原因は、過去の過大な公共投資にあることは言う までもない。過去の失政を正当化して開き直すのではなく、まずは誤りを素直に認める ことが肝要であり、反省がなければ、同じ失敗の繰り返しになりかねない。少なくとも 失政を認め、反省すべきではないか。所見を伺う。 イ また、「選択と集中」「受益者負担の適正化」「公平性の確保」などといって、財政難の ツケを市民に負わせ、福祉サービスを削減するようなことはあってはならない。財政再建 は市民のくらしと福祉を守る立場で進めなければならないと考えるが、所見を伺う。	市 長	
4. 「産業振興」のあり方について	①大企業呼び込み型の産業振興策から脱却を ア 広大な工業団地と破格の補助メニューを用意しての企業誘致など、大企業呼び込み型の 産業振興策から脱却し、農林水産業をはじめとする第一次産業、地場産業、既存の中小企 業の振興に軸足を移してこそ、「足腰の強い地場産業」が育成できると考える。所見を伺 う。 ②「商業環境」の現状認識と大型店の競争について ア 「ゆめタウン出雲」がオープンし、商店街をはじめ市内の既存小売業者は大きな打撃を 受けた。さらに「イオン出雲店」の増床で限られた消費者人口のもとで競争は一層激化し、 市民生活への影響は避けられない。市内小売業者、消費者に与える影響をどのように認識 しているか伺う。 イ また、市内の小売業者などを対象に、ゆめタウン出店の影響分析とイオン増床など、大	市 長	

	型店が与える影響について意見を聞く場を設けることを求めるが、いかがか。また大型店の出店を規制する条例の制定を検討すべきと考えるが所見を伺う。		
5. 「斐川中央工業団地」の新規造成計画は中止を	①「斐川中央工業団地」の新規造成について ア 上下水道等のインフラの整備を含めた総事業費はいくらか。 イ 市内工業団地に残されている未利用地の面積はいくらか。工業団地ごとに示されたい。 ウ 企業がこない場合、造成等の費用はどうなるのか。 エ 「財政難」と言って市民に負担を押し付ける一方で、不要不急の工業団地造成に市民の理解は得られない。中止を求める。	市 長	
6. 原子力発電について	①島根原子力発電所の再稼働について ア 福島原発事故の実態をみたとき、過酷事故を起こし得る原子力発電と市民生活との共存はありえない。原発のない社会をめざすべきと考えるが、所見を伺う。 イ 島根原発が停止して1年5ヶ月が経過した。福島原発事故の収束もされず、原因究明もできていない中、原発の再稼働はありえない。島根原発1、2号機の再稼働は行わず、3号機も稼働させないことこそが、将来にわたって市民の安心安全を確保するにあたって最も現実的な道だと考えるが、いかがか。 ウ 「周辺自治体の意見が反映されるよう関係機関に求める」とのことであるが、原子炉の停止等の措置命令が可能となる「安全協定」締結の早期実現こそ求めるべきではないか。	市 長	
7. 住宅リフォーム助成事業について	①住宅リフォーム助成事業の予算を増やし中小業者の仕事確保を ア 住宅リフォーム助成事業は、リフォームする方に喜ばれるだけでなく、建築関連の業者の仕事確保、地域経済の活性化に大きな役割を果たしており、期待も大きい。予定件数を超える申し込みの場合には、積極的に予算を確保するなどして対応することを求めるが、いかがか。 イ 制度開始からの経済波及効果はいくらか。	市 長	
8. 「障がい者福祉」について	①障がい者福祉タクシーの所得制限は撤廃を ア 財政難を口実に実施された「障がい者福祉タクシー」の見直しで多くの方が対象から外された。「地域社会との繋がりを持ち、充実した暮らしができるよう支援」というのなら、外された方を元に戻すべきではないか。 ②福祉医療費助成制度は以前の月額500円の定額負担に戻すべき ア 県が2005年に実施した福祉医療の1割負担導入は、障がい者の皆さんの負担増大となり、見直しを求める声は今でも後を絶たない。県に対し元の月額500円の制度に戻すことを要求するよう求めるが、いかがか。	市 長	
9. 高齢者福祉について	①介護保険について ア 特別養護老人ホームの待機者数を示されたい。 イ 特別養護老人ホームの増設を求めるが、いかがか。	市 長	

	ウ 保険料のこれ以上の値上げは行なわず、引き下げに向け努力するとともに、減免制度の充実など負担軽減を求める。 エ 介護現場の実態調査を求める。		
10. 住民合意のない「学校再編計画」は撤回を	①小中学校の再編計画について ア 住民合意のない「学校再編計画」は撤回すべき。	市長	
11. TPP、アベノミクス、消費増税について	①TPP交渉参加に抗議を ア 出雲市と日本の農業を守る立場から、TPP交渉参加に強く抗議されたい。 ②安倍政権の経済政策について ア 「アベノミクス」ともてはやされているが、株価、物価の上昇、円安が進むだけでは市民生活に悪影響が及ぶだけとなる。働く人の賃金と安定した雇用を増やすための政策が必要と考える。市長の所見を伺う。 ③消費税の増税に反対を ア 市民生活と中小業者の経営を破壊する消費税の増税に反対されたい。	市長	

質問者	30 大社クラブ 長廻 利行
-----	----------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
交流人口1,000万人プロジェクトについて	①交流人口1,000万人を実現する観光振興策について ア 昨年の神話博や今年の正遷宮を迎えて、交流人口1,000万人実現の手応えは感じられたか。 イ これまで本年の正遷宮を大きな目標にして観光施策を進められてきたと思うが、今後の目標と観光振興策について伺う。 ②大社門前町の整備について ア 神門通り周辺の整備は進んできたが、その成果をどのように分析しているのか。 イ ご縁広場、吉兆館周辺の整備状況について現状認識と今後の見通しについて伺う。	市長	